

なかしべつ町

# 社協だより

平成21年9月発行 第38号



東中・まことなかよしサロン、東中児童館交流会 流しそうめん大会

## 目次

安心・福祉のまちづくり～赤い羽根共同募金がはじまります～	2～3
社協ミニミニ情報	
老人親睦芸能発表会のお知らせ	4
りんどう園、森の家で夏祭り	4
負担の少ない在宅介護を学ぶ	5
小中高生がグループホームを訪問	5
中標津町遺族会総会が終了	5
東中・まことなかよしサロンと児童館が交流	6
ふれあいいきいきサロン助成金のお知らせ	6
ボラセン情報 中標津町社協ボランティアセンターからのお知らせ	7
ご寄付のお礼、収集ボランティアご協力のお礼	8

# 安心・福祉のまちづくり

## 赤い羽根共同募金がはじまります

### 共同募金の歴史

昭和20年、終戦直後、生活困窮者と戦災孤児の激増など、深刻な社会的・経済的混乱のなかで、国は「生活保護法」（昭和21年10月制定）を中心とした公的扶助政策を推進してきました。一方で、戦前国内に6700余あった民間社会福祉施設は、戦災によって3000余に激減し、さらにインフレによる物価の高騰、物資の入手難などによって、復興はおろか施設の維持さえも困難な状況となりました。また、昭和21年、連合軍総司令部（G.H.Q.）は、国が行うべき政策を民間の事業体に行わせては

ならないことと、民間が行う事業への公金支出を禁止する覚書を国に発しました。当時、「公私分離の原則」と呼ばれたものです。このような状況のなかで、民間社会福祉事業の活動資金を確保するための寄付金募集（共同募金運動）を、全国的に実施しようという気運が公私の間に高まり、この運動を展開するために社会事業共同募金中央委員会が組織され、第1回の共同募金が実施されました。

### 赤い羽根の由来

共同募金のシンボルとして親しまれている「赤い羽根」が、共同募金運動のなかで登場したのは、

運動開始後2年目の昭和23年からでした。当時、街頭募金の寄付済み

の印として何を採用するか検討が行われました。同時期にアメリカでも社会福祉のための募金活動が行われ、水鳥の羽根を赤く染めて使っていることにヒントを得て、日本でも鶏の

じぶんの町を  
良くするしくみ。



赤い羽根共同募金

www.akaihane.or.jp

赤い羽根 検索



○助成の対象は、都道府県によって異なります。くわしくはこちらから→





羽根を使うことになりました。戦後の世相の中で、明るい心の触れ合いを求めようとする人々の感情をとらえたのか、【赤い羽根】は、日本国中の人々の胸に飾られ、製造が間に合わないほどの大反響が得られました。

## 共同募金の使い道

赤い羽根共同募金は、誰もが安心して暮らせるまちづくりのために、地域のさまざまな活動に役立てられています。

例えば、目が不自由な方々のための盲導犬を育てるために、1人暮らしの高齢者に食事をサービスするために、目の不自由な方々がスポーツを楽しむために、親と一緒に生活できずに施設で生活している子どもたちと地域交流事業をするために、障がいのある方々が自分たちの住んでいる地域で様々なものを作りながら働く喜びを育むために…。全国で約7万5000件の活動を応援しています。

### 中標津町では

中標津町では、平成19年度に集められた募金が20年度の各活動に役立てられました。具体的には、特定非営利活動法人森の家の車両購入や学校の福祉教育への助成事業、中標津町社会福祉協議会が行っているボランティア講座、社会福祉大会、小地域福祉活動事業、福祉活動団体への助成、そしてこの社協だよりを発行するための費用にも使われています。



### 募金運動が

### 始まります

赤い羽根共同募金運動は今年も10月1日から12月31日の期間で行います。集まった募金は北海道内の福祉の環境整備や中標津町内の福祉活動などに役立てられます。これから、ご家庭、企業にお伺いすることもありますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 平成21年度募金目標額

4,977,000円

#### ◇北海道全体で

使わせていただく募金として

1,076,000円

#### ◇根室支庁管内で

使わせていただく募金として

191,000円

#### ◇中標津町で

使わせていただく募金として

3,710,000円

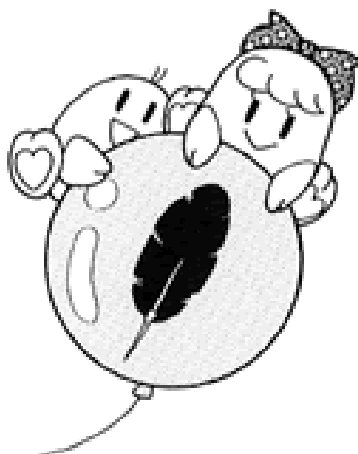
#### （うち活動事務費として

290,000円含む）

平成21年度に集めたお金は平成22年度に活用します。

なお、共同募金会は税制上、国や地方公共団体と同じように、「寄付に対する優遇措置の対象団体」となっています。

個人の寄付は寄付される金額が5,000円を超える場合、所得税の寄付金控除および住民税の寄付金税額控除の対象、法人の寄付は株式会社などの場合寄付される金額について「全額損金」扱いとされます。



詳しくは北海道共同募金中標津町分会（中標津町社会福祉協議会法人事業グループ 地域福祉業務担当）までご連絡ください。

# 協 社 報 情

社協事業や、地域の福祉活動の  
情報をご紹介します。



## 老人親睦芸能発表会のお知らせ

中標津町老人クラブ連合会が主催で第31回中標津町老人親睦芸能発表会を平成21年9月15日(火)、中標津町総合文化会館(しるべつと)で行います。

当日は10時に開会し、歌謡、舞踊、民謡など合わせて63のプログラムを予定しています。

入場は無料で、どなたでも自由にご覧いただけますので、多数のご来場お待ちしております。



## りんご園、森の家で夏祭り

第6回中標津りんご園夏祭りが7月31日(金)に開催されました。

当日は曇り空の中ではじまりましたが次第に晴れ間が見えてきて、汗をかくほどの天気となりました。会場では多くの団体の協力によって出店され、りんご園の利用者と家族、地域の方々との交流の場となりました。

りんご園夏祭りは平成16年から始まり、当初から比べて年々参加者が増え、今年は220名の方が参加されました。



また、特定非営利活動法人森の家でも利用者と地域の方との交流を目的とした第1回森の家まつりを8月1日(土)に開催しました。

森の家まつりを開催するのは今年がはじめてでしたが、当日は天候にも恵まれ夏らしい暑さの1日となり、多くの方の参加がありました。会場では白樺町内会や商工会青年部、親の会の協力で焼きそば、焼き鳥、生ビール、ワタアメなど多くの食べ物やゲームの露店が出され、どの店も賑わっていました。特に輪投げの露店では開始1時間ほどで景品のお菓子がなくなるほどの人気でした。





## 負担の少ない在宅介護を学ぶ

～地域で支えるあんしん在宅介護講座を開催～

北海道社会福祉協議会との共催で平成21年8月8日(土)、9日(日)に「地域で支えるあんしん在宅介護講座」を中標津町総合福祉センターにて開催しました。



両日のべ40名の参加があり、「介護」や「介護予防」の知識、技術と福祉サービスを学びました。1日目は安心してできる在宅介護のために、老化による心身の変化などについての講義や、起き上がり、椅子からの移乗など介護の工夫やコツについての実技を行い、2日目は認知症や福祉用具、住宅改修についての講義や介護サービス情報公表制度、中標津町の福祉サービスについて学びました。

参加者からはまた参加したいとの声もあり、住み慣れた地域での暮らしを継続していくための方法を学ぶよい機会とすることができました。

## 小中高生がグループホームを訪問

～ちよつと体験ボランティア講座(夏)を開催～

ちよつと体験ボランティア講座

(夏)を8月4日(火)に中標津町総合福祉センターとグループホームいこいの樹で開催しまし

た。

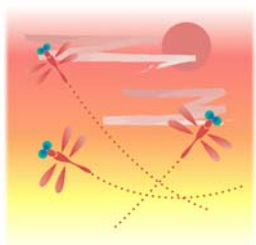
小学生、中学生、高校生あわせて10名の参加があり、グループホーム入居者と一緒に周辺の散歩



## 中標津町遺族会総会が終了

中標津町遺族会が総会を平成21年8月15日に中標津町総合文化会館にて行いました。

総会では中標津町殉公者追悼式の後に行い、平成20年度事業経過・決算報告、平成21年度事業計画・収支予算について審議されました。



七夕の飾りつけを行いました。参加者は入居者との関わりの中で自分で何か手助けできることはないか考えながら活動し、散歩の時には車が来ないか気を配り、七夕の飾り付けの時には声をかけあいながら次々と短冊や飾りを作り上げました。

参加者の方々には、今回の講座を

きっかけに、互いが互いを支え合う優しい気持ちを育んでもらいたいと思っております。



# 東中・まことなかよしサロンと

## 東中児童館が交流会

東中・まことなかよしサロンが、なかよし児童館との交流会を8月11日（火）に東中町内会館となかよし児童館で行いました。

サロンボランテニアや児童館指導員、町内会員は朝9時から昼食や会場の準備に取りかかり、サロンメンバーや子どもたちを迎えました。

午前中は準備体操からはじまり、8月生まれの方のお誕生日会や交流ゲームが行われ、子どもと一緒に楽しんでいました。

昼食には児童館の畑で採れた新鮮な野菜を使ったカレーライスと



野菜サラダを食べ、その後は流しそうめん大会が行われました。会館と児童館の駐車場に長く設置された流しそうめんの流し台のそばには、ずらりと人が立ち並び、下流の方にはなかなかそうめんが流れていかにいくらい盛況でした。

午後からは東中町内会から防災についての説明とビデオ上映の後、演芸交流としてフラダンスサークルや児童の踊りなどが披露されました。

プログラムは2時30分にすべて終了し、参加者の笑顔が多く見られた1日となりました。

## 中標津町社協ではサロン活動を応援しています

### 【ふれあいいいききサロン助成金のお知らせ】

中標津町社会福祉協議会では、ふれあいいいききサロン事業を行う団体に対して助成金などの支援を行っています。助成金は、高齢者世帯の見守り活動を促進し、気軽に外出し、生きがいを持つ地域を作ることを目指しています。東中・まことなかよしサロンでもこの助成金を使っています。ぜひこの助成金を多くの地域のサロン立ち上げにご活用ください。

助成金額 年額30,000円（初年度は立ち上げ支援金として20,000円を加えて助成）

詳細は社会福祉法人 中標津町社会福祉協議会  
法人事業グループ 地域福祉業務担当まで  
(Tel 0153-79-1231)



# ボラセン情報

中標津町社協ボランティアセンターからのお知らせ



## 「ボランティア募集中」

中標津つくしの会

高齢者と共に体操、歌、ゲーム、会話などを行ったり、昼食の準備などをお手伝いできるボランティアを募集しています。

活動日 毎月第2木曜日、第4木曜日  
活動時間 午前9：00～午後2：30  
場所 中標津町総合福祉センター（プラット）

利用者とボランティアが一緒になって楽しい時間を過ごしています。ぜひ一度見学に来てください。

連絡先 事務局 大竹 0153-72-1354

## 「ゆずってください」

グループホームいこいの樹

ゲームやキャンプ用椅子が不要な方はいらっしゃいませんか？グループホーム入居者が利用するため下記の物品をぜひゆずってください！

- ◇民謡、演歌のCDやDVD
- ◇オセロや将棋などのゲーム
- ◇キャンプ用の椅子

ゆずっていただける方は中標津町社会福祉協議会法人事業グループ地域福祉業務担当までご連絡ください。施設との連絡調整をします。

## ♪リングプル収集ボランティアの状況♪

(平成21年8月末現在)

現在貯まっているリングプル総重量	649kg (前回590kg)
プルネット保管分	570kg
社協保管分	79kg

次の目標：子ども用車椅子（介助ブレーキ付） 1,080kgまで

あと 431kg です。

子ども用車椅子は中標津町社会福祉協議会にて貸出用として活用予定です。これからも多くの方のご協力お待ちしております。

# あたたかい真心ありがとうございました

## 香典返しにかえて

中山 静子 様	大久保 道子 様	伊原 康夫 様
松浦 光弘 様	宮 フミエ 様	山崎 幸子 様
田島 義一 様	石川 延子 様	菅原 千枝子 様
白坂 美恵子 様	池田 隆次 様	高橋 スミ子 様
本村 サツ子 様	西沢 孝司 様	宇野 義信 様
板垣 静子 様	渡辺 守捷 様	久保 美智子 様
廣瀬 定夫 様	奥田 建雄 様	鹿又 淳子 様
志賀 よし子 様	佐藤 靖男 様	寒川 定男 様
西山 衛 様	佐藤 照芳 様	
坂脇 多可子 様	塩崎 ユウ 様	

## 篤志寄付として

国鉄OB中標津親睦会 会長 吉川 正 様

平成21年8月13日分まで掲載

## 収集ボランティアにご協力いただきました

青山 智和 様	岡部 新一 様	志賀 正 様	松崎 多美 様
川村 純子 様	佐藤 千代子 様	山崎 郁子 様	本田 イノ 様
志賀 正秋 様	佐藤 友子 様	前野 洋子 様	青野 一枝 様
山中 英子 様	太田 友子 様	矢萩 義江 様	武藤 芳巳 様
重松 麗子 様	伊藤 節子 様	笠井 栄子 様	
JA中標津女性部 様	養老牛老人クラブ 様	中標津高等学校木馬の会 様	
明治安田生命中標津営業所 様	愛の家グループホームなかしべつ 様		
豊原踊りグループ 様	第1老人クラブ 様	中標津町消費者協会 様	
そば処 福住 様	もりたセレモニーホール 様	町立中標津病院 様	



平成21年8月11日分まで掲載



社会福祉法人 中標津町社会福祉協議会

〒086-1110

標津郡中標津町西10条南9丁目1番地4

中標津町総合福祉センター

電話 0153-79-1231

FAX 0153-79-1233

<http://www.nakashibetsu.jp/shakyoHP/index.htm>



「社協だより」は共同募金の一部配分金を受けて発行しています

## 社協だより、ホームページをリニューアル

中標津町社会福祉協議会の社協だよりとホームページをリニューアルしました。

よりわかりやすく地域や福祉の情報を提供していけるよう作成を続けていきますので、ぜひご覧ください。